



天井から床まできれいに修繕 技能協会が奉仕活動

栗山町技能協会の会員13人が3月29日、町内小中学校の修繕作業を行いました。平成22年から続く奉仕活動で、今年で13回目。出発式で吉田政和教育長は「皆さんの活動を通じて、物を大切にする心を子どもたちに教えることができます」とお礼の言葉を述べました。その後、会員はそれぞれが担当する学校に向かい、穴の開いた天井の修繕や床板の接着などを行いました。



東大生が4日間滞在 農業サークル「むら塾」が農業体験合宿

東京大学の学生サークル「東大むら塾」の学生8人が、3月22日から4日間町内に滞在しました。学生たちは農協の施設見学や農業体験を行い、花苗の移植などの作業を実施。また、コミュニティFM開設イベントへのゲスト出演などを通じて、町民と触れ合いました。副代表の藤盛慎之介さんは「町民に活気が溢れていて、エネルギーが感じられた」と話していました。



学校生活のスタート 町内の各学校で入学式

町内の各学校で、総勢188人の入学式が行われました。式典では、真新しい制服やスーツなどの正装に身を包んだ新入生が、自己紹介や代表あいさつをしっかりと務めました。

このうち、小学校では上級生による歓迎のあいさつや校舎案内などを実施。継立小学校1年生の谷川晃稀柊さんは「テストや体育の授業を頑張りたいです」と話していました。



栗山小学校

【各学校の新入生の数】

- ・栗山小学校 45人
- ・角田小学校 5人
- ・継立小学校 7人
- ・栗山中学校 81人
- ・栗山高等学校 25人
- ・北海道介護福祉学校 25人



角田小学校

全道大会で準優勝 くりやまフットボールクラブ

町内サッカー少年団のくりやまフットボールクラブが、苫小牧市で開催のJA全農杯全国小学生選抜サッカー大会北海道予選への出場を決め、藤谷一史監督と選手3人が4月6日、吉田政和教育長へ報告に訪れました。9日・10日に地区予選を勝ち抜いた16チームで行われた同大会では、初の決勝へ進出。札幌代表のチームに惜しくも敗れたものの、見事準優勝に輝きました。



ふるさとへ帰る姿を願って サケ稚魚放流会

サケ稚魚放流会が4月2日、雨煙別川支流の高橋の沢川で行われました。15回目となる今回は約110人が参加。一般社団法人流域生態研究所の妹尾優二所長から、サケの遡上や雨煙別川の現状について説明を受けた参加者たちは、約1万匹の稚魚を放流しました。札幌市から参加し、初めて放流を体験した関野優広さん(8歳)は「大きくなって戻ってきてほしい」と話していました。



継立小学校



栗山中学校



栗山高等学校



北海道介護福祉学校